2023年度 臨床看護実践能力習熟段階評価表

		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
キーワード		指導や助言を受けながら看護活動ができる ※適応　安全	自立して看護を実践する ※安楽・個別性	状況判断し対応できる ※個別性・専門性	連携や協調ができる ※専門性・応用	部署の目標達成ができる ※自律・熟練
概ねの経験年数		新人1・2年目	3～5年目	6～9年目	10年以上	看護管理者
到達目標		1、基本的な看護ケアが安全・確実に手順通りに実施できる 2、支援のもとで看護過程が展開できる 3、チームメンバーとしての役割が理解できる 4、院内研修を通して看護の知識が深められる 5、個人情報・プライバシーに配慮した対応ができる 6、一事例をまとめて発表できる 7、先輩や上司に報告・連絡・相談できる	1、対象に合わせた看護ケアが効果的にできる 2、顕在化している問題を抽出し看護過程が展開できる 3、チームメンバーとしての役割が果たせる 4、院内外研修に参加し、看護実践に活かすことができる 5、院内看護研究に参加することができる	1、対象の状況に合わせた看護計画、立案、看護実践ができる 2、潜在化している問題を明確にし看護過程の展開ができる 3、チームリーダーになれる 4、後輩や学生の指導者への支援ができる 5、退院支援ができる 6、院外研修に参加し、看護ケアに活かす方法を指導できる 7、看護研究に行い院内で発表できる	1、医療チームに必要な看護実践ができる 2、積極的に家族にかかわることができる 3、社会資源を用いた退院支援ができる 4、チームリーダーや臨床指導者への支援ができる 5、プリセプターや臨床指導者への支援ができる 6、看護研究を行いその成果を発表し業務に活用できる	1、熟練した看護実践ができる 2、組織を理解して担当部署の目標達成に貢献できる 3、所属を超えてリーダーシップを発揮できる 4、看護研究への推進や支援ができ、積極的に研究に取り組むことができる
看護実践能力		□5感を用いて観察できる □受け持ち患者の情報を系統的に収集できる □問題点を抽出し優先順位を考えることができる □フイジカルアセスメントができる □プリセプターや先輩の意見を聞いて計画立案できる □受け持ち患者の看護計画に基づきケアの実践ができる □緊急時の指示を受けて行動できる □患者の安全を考えて確実な看護実践ができる □実践したケアの評価ができる	□患者の全体像をとらえフィジカルアセスメントができる □日常業務の中で患者・家族・看護チームの中から意図的に情報収集ができる □顕在的な問題点抽出し、カンファレンスで問題提起できる □患者のニーズを踏まえた計画を立案できる □患者の優先順位を考え行動できる □緊急時の対応ができる □安楽なケアを実践、評価できる	□患者や家族が不安や心配などを表出できるようなコミュニケーション技法を用いて情報収集できる □患者の問題を予測し情報収集できる □混在化している問題や予測できる問題を明確に問題提起できる □個別性を捉えた計画立案、看護実践ができる □緊急時速やかに対応できる □実践の評価をフイードバックできる □チーム活動の評価ができる	□他の医療チームメンバーから意図的に情報収集し問題を明確にすることができる □社会資源を活用した計画立案、看護実践ができる □看護実践を後輩に助言できる □経験を応用したケアを実践ができる □退院計画を立案し、他職種と連携しながら退院調整ができる □チーム活動の評価ができる	□問題の領域を絞り、選択的に情報収集できる □患者や家族の状況を正確に判断し、問題の明確化に向けてスタッフに助言できる □熟練された看護実践を他のメンバーに指導できる □業務フローの見直しを行い改善できる □多様なニーズを取り入れた看護ケアが実践できる □実戦した看護を評価しチームメンバーの支援ができる □看護記録から看護の質評価ができる
組織的役割遂行能力	業務管理	□看護部内のシステム・ルールを知ることができる □自部署の特殊性や業務内容を理解できる □自部署の目的・目標を知り、達成の活動に参加することができる □チームメンバーの役割・機能を理解できる □指導を受けながら看護実践の記録ができる □プライバシーを保護し医療情報や記録物を指導のもと扱うことができる □物品・薬品の取り扱いについて理解できる □物品の不具合について報告できる	□チームメンバーと共に自部署の問題について情報交換ができる □カンファレンスに参加することができる □委員会活動に参加し、上司に報告できる □正確に記録ができる □プライバシーを保護して医療情報や記録物を取扱える □物品在庫状況をみて補充できる □物品や医療機器の正しい取り扱いができる □物品の不具合について報告ができる	□医療チームの中でカンファレンスで情報共有できる □病棟目標を理解し意欲的に取り組むことができる □自部署の患者・看護スタッフの状況に応じた業務調整ができる □自部署の業務改善に積極的に意見を述べることができる □状況に合わせて患者・家族に情報提供ができる □プライバシーを保護して医療情報に関する規程を理解し指導できる □物品在庫状況に応じて、物品の請求ができる □物品の取り扱いの指導ができる □物品の不具合について報告ができる	□医療チームの中でカンファレンスを運営できる □自部署の目標達成のための活動推進に参加できる □自部署の患者・看護スタッフの状況に応じた業務の調整を指導受けながら調整できる □自部署の看護ケアの質の評価に参加できる □自部署の業務改善に積極的に参加することができる □施設内の医療情報に関する規程を理解でき指導できる □状況に合わせて患者・家族への対応ができる □コスト意識をもち、物品管理ができる □物品の不具合の対応策について対処できる	□患者ニーズとスタッフの能力を考慮して自部署の管理ができる □自部署の方針に基づいた活動を推進できる □担当する委員会・会議の推進役として行動できる □効率的なベットコントロールができる □施設内の情報管理に関する規程を把握し対応・指導ができる □コスト意識をもち物品管理の把握を行いながら指導ができる
	安全・感染管理	□院内における医療安全管理体制を理解できる □インシデント・アクシデント報告速やかにできる □院内感染対策の体制を理解できる □標準予防策を理解し実施できる □防災マニュアルに沿って先輩や上司の指示のもと行動ができる	□自部署に設備される医療器機の正しい取り扱いができる □インシデント・アクシデントの事例から危険予知ができ対策立案できる □感染対策のために感染経路別対策を理解し実施できる □適切な標準予防策を実践できる □防災マニュアルに沿って先輩や上司の指示のもとに行動できる	□所属部署の医療器機・物品の取り扱いの指導ができる □インシデント・アクシデントの事例から危機を予測し状況に応じて対応ができる □標準予防策を適切に実施し、後輩に指導できる □患者の状態に応じた感染対策が実施できる □緊急・災害時に上司に報告し対処できる	□所属部署の器機・物品の管理ができる □インシデント・アクシデントの事例から対策を評価し指導ができる □危機を予測し状況に応じて対応、指導ができる □院内感染対策チームに参加し、部署の感染対策のリーダーシップを発揮できる □緊急・災害時にリーダーシップを発揮できる	□看護管理上の問題発見やその解決策を考え実践させることができる □感染予防対策に関して、高度な知識と技術を持ち、院内感染対策に参画できる □緊急・災害時にリーダーシップをとりながら院内の安全を考慮できる
	社会性・倫理	□時間や、期限を守ることができる □健康管理ができる □基本的な接遇マナーを理解し、実践できる □社会人として常識ある行動をし法人のルールを理解する □患者・家族・同僚とコミュニケーションが取れる □分からないことがあったら自ら調べたり、上司や先輩に報告・連絡・相談が出来る □職員倫理綱領や患者様の権利などを理解し実践する	□時間や、期限を守ることができる □健康管理ができる □基本的な接遇マナーを理解し、実践できる □社会人として常識ある行動をし法人のルールを理解する □患者・家族・同僚とコミュニケーションが取れる □上司や先輩に報告・連絡・相談が出来る □自己目標を提示し、達成に向けて自ら行動できる □職員倫理綱領や患者様の権利、看護職の倫理綱領をなどを理解し実践する	□時間や、期限を守ることができる □健康管理ができる □基本的な接遇マナーを理解し、実践できる □社会人として常識ある行動をし法人のルールを理解する □患者・家族・同僚とコミュニケーションが取れる □上司や先輩に報告・連絡・相談が出来る □自分中心ではなく周囲の事を考えて行動する □自己のキャリアアップのために何事も積極的に取り組むことができる □職員倫理綱領や患者様の権利、看護職の倫理綱領をなどを理解し実践する	□時間や期限を守ることができる □健康管理ができる □基本的な接遇マナーが実践でき、後輩に指導できる □医療チームにおける関わりの中で倫理的・道徳的な行動・言動ができる □患者・家族・同僚とコミュニケーションが取れる □周囲の事を考えてサポートする事が出来る □自己のキャリアアップのために何事も積極的に取り組むことができる □職員倫理綱領や患者様の権利、看護職の倫理綱領をなどを理解し実践する	□時間や期限を守ることができる □健康管理ができる □基本的な接遇マナーを指導し、自部署の看護サービスの向上につなげることができる □医療チームにおける関わりの中で倫理的・道徳的な行動・言動が指導できる □自己のキャリアアップのために何事も積極的に取り組みことができる □職員倫理綱領や患者様の権利、看護職の倫理綱領をなどを理解し実践する
自己教育・研究能力	自己研鑽・研究	□知識を深めるために 院内外研修に参加する □看護実践を通して自己の看護を振り返ることができる □プライマリーナースとして看護実践を通して事例をまとめることができる □看護学生に対し、配慮ある態度を示すことができる	□プリセプターの役割を理解し、後輩育成のための教育計画を実施、評価できる □新人看護師の相談役になることができる □興味のある研修に自主的に参加することができる □研修の学びを報告できる □自己やチームにおける研究に参加する □看護学生の報告を受けることができる	□プリセプターの支援（実践）ができる □自主的に院内外の研修に参加できる □自身の知識や技術を生かし、後輩へ指導できる □看護研究を行い院内で発表できる □看護学生や研修者に対して目的・目標に沿った指導ができる	□スタッフレベルにあった指導・支援ができる □キャリアアッププランを立案できる □看護研究の助言・支援ができる □院内外研修に参加し発表することができる □看護学生の臨床指導ができる	□スタッフの能力開発、人間性の成長を支援することができる □教育プログラムの推進ができる □自部署の中心となって看護研究を推進できる （問題解決への働きかけ） □院内外研修に参加しスキルアップ、マネジメント力の向上を図ることができ、発表することができる

看護部教育企画委員会2023年5月改定